

<b>英語Ⅱ</b>	履修年次	1	
	単位	2	
池田 るり子、猪股 美帆、内田 景子、ヴァッド 郁代、大瀧 恵、古賀 智久、谷口 元、 高橋 久美子、藤原 由美、ペニャ 詠子、本橋 潤子、米元 洋次、渡邊 直子	配当期	後	
	授業方法	演習/対面	
授業の内容			
<p>[授業の概要]</p> <p>「英語Ⅱ」では、「発音」と「英語脳 3 本柱」をテーマに、この授業も、前期「英語Ⅰ」同様、リチャード川口先生の映像による授業と担当教員によるペア及びグループワークで学ぶ。「マインドセット」「SV 語順思考」「シンプル日本語発想」という英語脳 3 本柱の基本コンセプトの下、「欧米人の気持ちになって、前向きでポジティブであること」をよしとし、「英語と日本語の違いを理解し、SV 語順思考を理解し、「シンプル日本語発想」で、沈黙をつくらない、会話をとめるな思考」を習得する。ありがちなシチュエーション(状況設定)ごとに「これを英語で言いたかった」「あの時英語で言えなかった」ことを「英語脳」を使って解決していく。</p> <p>なお、スケジュールや授業外学習の進め方などについての詳細は、第 1 週に担当教員から説明がある。</p>			
この科目の到達目標			
<ul style="list-style-type: none"> <li>・発音練習を続けることで、ネイティブに近い発音ができるようになる。</li> <li>・ペアワーク、グループワークなどでクラスメイトと協調・協働して英語での表現の幅を広げることができる。</li> <li>・授業外学習で授業の復習を行うことで、自学自習の習慣を身につけることができる。</li> <li>・日本と英語圏での言葉のしくみや文化・習慣の違いを理解することができる。</li> </ul>			
成績評価の方法			
<p>S評価 次のすべてを満たす場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①授業の出席率が 100%であること</li> <li>②「発音道場」の実施率が 100%かつ平均点が 60 点以上あること</li> <li>③授業において主体的に参加していたことが認められること</li> </ul> <p>A評価 次のすべてを満たす場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①25 回以上の授業出席があること(欠席が 1 回～3 回まで)</li> <li>②「発音道場」の実施率が 80%以上かつ平均点が 40 点以上あること</li> </ul> <p>B評価 次のすべてを満たす場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①19 回以上の授業出席があること(欠席が 4 回～9 回まで)</li> <li>②「発音道場」の実施率が 80%以上かつ平均点が 40 点以上あること</li> </ul> <p>F評価 次のいずれかに当てはまる場合</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①10 回以上の授業欠席があること</li> <li>②「発音道場」の実施率が 80%未満または平均点が 40 点未満であること</li> </ul>			
週	授業項目	週	授業項目
1	オリエンテーション・ マインドセット 英語脳の 3 本柱 & 欧米人マインド	8	シチュエーション ショッピング シチュエーション 何をしてたか説明する
2	マインドセット 地球人マインド 英語の語順 S(主語)の重要性	9	シチュエーション 雑談 英語の語順 疑問文と否定文
3	シンプル日本語発想 マインドセット 言い換えの技術 & 会話をとめるな思考	10	シチュエーション 道を尋ねる スペシャル回 発音ブラッシュアップ
4	シチュエーション 自分を知ってもらおう 英語の語順 S+V1 (イコールになる動詞)	11	英会話のワザ 形容詞と副詞で英語脳を膨らませる シチュエーション映画の話をする
5	シチュエーション 仲良くなる 英語の語順 S+V2(他動詞)	12	英会話のワザ 感情を表現する シチュエーション ホテルでの会話
6	シチュエーション レストラン 英語の語順 S+V3(自動詞)	13	英会話のワザ 上品に聞こえる スペシャル回 外国人ゲストに向けての準備
7	スペシャル回 外国人ゲスト準備 & 外国人ゲスト来校	14	スペシャル回 外国人ゲスト来校 発音発表・授業評価